

開催報告

国際地盤工学会第 14 回アジア地域会議(香港)

東京大学 内村 太郎

2011年5月23日～27日の日程で、香港理工大学で、国際地盤工学会第14回アジア地域会議が開催されました。9つのキーノートレクチャー、35のテクニカルセッションのほか、各テクニカルコミティーによるセッションが22あり、全部で414編の一般発表がありました。

24日朝には、キーノートレクチャーとして、IGS 日本支部会員でもある京都大学の勝見武教授による講演「Effects of clay-chemical interactions for geo-environmental containment」が行われました。はじめに、粘土粒子に対する間隙水中のイオンの働き、それによる透水性や力学特性の変化といった、粘土科学の基礎を分かりやすく説明されました。続いてベントナイトを使って地中に遮蔽壁を構築する工法、および、ジオシンセティックス・クレイ・ライナーの性能など、ご自身の研究成果を紹介されていました。

また、24日の夕方には、Geosynthetics と題するセッションが設けられ、8編の発表がありました(下記)。IGS 日本支部からは、埼玉大学の桑野二郎教授が、地震で変位した補強土擁壁の健全性評価について発表されました。

1. Nayeri, A (Amirkabir 大学, イラン) :
Evaluation of Pullout Strength of PET-Geogrid Embedded in Silica Sand
2. Noorzad, A (Power and Water University of Technology, イラン) :
DEM Simulation of Geomembrane-Soil Interface
3. 鈴木素之 (山口大) , 発表は志村直紀 (ヒロセ株式会社)
Seismic Behavior of Reinforced Earth Wall on Shaking Table
4. 桑野二郎 (埼玉大学)
Soil-Geogrid Interaction in Pullout Test with Unloading-Reloading Process
5. Chew, S H (シンガポール大学)
Design and Construction of Containment Bund Using Geotextile Tubes in Singapore
6. Artidteang, S (アジア工科大学, タイ)
Properties of Limited Life Woven Geotextiles (LLGs) for Soil Reinforcement and Soil Erosion Control Applications
7. Hall, C D (Tensar International Ltd, 英国)
Mechanical Stabilisation using a New Form of Geogrid
8. Chen, Cheng-Wei (TRI/Environmental, Inc, 米国)
An Examination of Fly Ash-Geogrid Interaction